

寺報

No.596

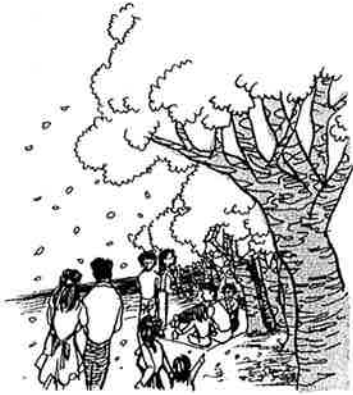
平成29年4月

蓮華寺
行

御聖訓

神は所従なり、法華経は主君なり、所従のついでに主君へのけざんは世間にもをそれ候。

『三沢鈔』



(解説)

日蓮大聖人からみれば、親のような年令である【内房の尼御前】という方が、身延山の太聖人にお会いしたいと訪ねて来たのですが、その時にその土地の『氏神』様へお参りしたついでに来たと聞いた太聖人は、その方にお会いになりませんでした。そのわけは、神は元々家来であり、法華経が主君であると、常に信者に教えていたからです。

家来のついでに主君を訪ねるといふ事は、まさに本末転倒なのです。

まして、尼さんであるならば、仏様を先としなければならぬわけですから、この過ちを正す為にも、太聖人はあえてお会いにならなかったのです。

皆様の中にも、「何かのついでに」お寺参りに来たという方がいるかもしれません。

しかし、太聖人はこの「ついで」にというケジメのなさに対しては、実に厳しい態度をとりました。

我々も、信仰に対してはこれだけは必ず守るといふ確固たる信念を持つていかなければなりません。

この事を、お釈迦様は『持戒』といひます。

会 誕 降 御 祖 宗

四月十三日(木)

午後一時より

場所…大本堂



*日蓮大聖人様のお誕生日の日です。
*皆さんでお祝い致しましょう。
*お供物を受け付けます。

『大荒行祈禱会』行われる

去る二月二十五日、当山勤務の「加藤暁宏」上人が日蓮宗大荒行堂第初行を無事に終えられ、その祈禱会が執り行われました。

午前十時、寒風吹く中、加藤上人を先頭に今般同じく成満されました行僧五名と共に行列が行われました。荒行僧のそのやつれた中にも、たくましさがあるお姿を拝し、檀信徒の皆様はその神々しさに圧倒されました。

午前十時半、冷たい風が吹きまた水温が氷点下の中、大本堂前にて水行式が行われました。

寒さにもひるむ事なく、ひたすら水をかぶり続ける荒行僧達の力強いお姿を目の当たりにし、皆一同に感激し、日蓮宗の荒行の素晴らしさを改めて感ずる事が出来ました。

午前十一時、大本堂で加藤上人導師のもと『大荒行祈禱会』が厳修されました。

この日お待ち並び詰め掛けました、多くの檀信徒の前での一糸乱れぬ読経・修法、そこには寒壺百日間の苦行、そして仏祖三宝・諸天善神様への感謝の気持ち

強く現れていました。

その後、第初行成満の『許証』、修法師の『認証書』などが各関係者から授与されました。

続きまして、今般の大荒行堂『正法師』の聞法寺住職 工藤堯幸上人より

「加藤上人は、今般の初行僧の中では人一倍頑張り、他の初行僧よりも辛い修行をしてきましたが、その反面、より強いお力を得る事が出来たと思います。

どうかこのお力を持って、より多くの人々を助け法華経の教えに導くようお願い致します。」との激励のお祝辞を戴きました。

更に、青森県宗務所長、妙現寺住職・秋田堯瑛上人、修法師会々長、法峠寺住職・木立知孝上人、師僧であります要心寺住職・加藤知宏上人と激励の挨拶が続きまして、最後に当山住職上人からは

「加藤上人は百日間の苦修行でかなりやつれ、心身共に疲れたようですが、修法師となり改めてたくましさは備わったように感じられました。どうか、そのお力をもって多くの檀信徒の皆様を教化して戴きたい」とのお言葉を頂戴しました。

そして、加藤上人より、

荒行堂の一日

「今般、蓮華寺住職様初め各上人方、ご来賓の方々、また檀信徒の皆様のお力を戴き、無事大荒行を成満する事が出来ました。私もこの百日間の修行を生かしまして、より一層皆様方の為に頑張る所存であります。どうか、今後共よろしくお願い致します。本日はどうも有り難うございました。」とお礼の言葉を述べられました。

そのお言葉に、たくさんの方々の参拝者の方々も、皆もらい泣きするという感動の祈禱会となりました。

加藤上人、寒壺百日間の修行、誠に苦勞様でした。

- 一、午前二時半起床
- 一、午前六時半朝食
- 一、午前七時より読経
- 一、午前九時より水行
- 一、午前十時より昼勤
- 一、午後十二時より水行
- 一、午後一時より読経
- 一、午後三時より水行
- 一、午後四時より夕勤
- 一、午後五時半夕食
- 一、午後六時より水行
- 一、午後七時より夜勤
- 一、午後十一時より水行
- 一、水行後就寝

以上

大荒行堂 一百日を成満して

加藤 暁宏

昨年十一月一日より本年二月十日までの寒一百日間日蓮宗大荒行堂、初行を無事に成満する事が出来ました。これは偏に、檀信徒の皆様、角田堯淳住職を初めとした各先輩上人、要心寺の皆様のご協力があつたからこそ、修行に専念する事が出来たのでした。本当にありがとうございます。

先輩上人方からは入行する前に、荒行堂がどういう処なのか、色々と教えて頂きましたが、百間は一見にしかずと申しますように、聞くのと実際に体験するのでは大違いでございました。

夜明け前の二時半に起床し三時に最初の水行、水行が終わるとすぐに朝勤、朝食を数分で済ませ、また水行。日に七度の水行を行い、就寝するのは十二時近くそして再び夜明け前の二時半に起床、話には聞いておりましたが、毎日行うのは非常に厳しいものでした。

読経や水行だけでなく、荒行堂を自分たちで運営するため、諸役の仕事もこなさなくてはいけません。私は「内堂供養」という荒行堂の中での祈願、回向の受付とその内容を半紙に書いて堂内に貼り出しをする役

職に就いておりました。この諸役の仕事はひとつの失敗も許されません。荒行堂の中においては、どのような事でも、完璧に出来て当たり前であり、もし失敗があれば、先輩上人から非常に厳しいお叱りをうけるのです。

空腹、眠気、寒さと戦いながら勤読、水行、諸役の仕事も行い、失敗すれば厳しいお叱りをうける、初行の中でもその過酷さで、体調を崩す者や、足を壊す者また放心状態になり先輩上人に更に叱られる者などがたくさん出てくるほどでした。

青森県内の初行は幸いにも、大きな怪我や病気になる事もなく成満出来ましたが、もし入院しなければならぬ病気や怪我があるようであれば、荒行を途中で成満するために、少ない睡眠時間を削って、注意すべき処は互いに注意し合い、困り事があれば互いに助け、励まし合い、また衝突も乗り越え、どうにか初行僧五十四名一致団結して、行に励む事が出来ました。

今回入行させて頂いて、一番感じた事は一人だけの修行ではないという事でした。檀信徒の皆様を初め住職上人、先輩上人、師父、そして正伝師猊下を初めとした荒行堂内の各諸上人の皆様、そういった方々の協

力、激励があつて初めて成満を迎える事が出来たのだと改めて痛感しました。この気持ち忘れず、この恩に報いるためにも、今後修法道に励んでいきたいと思ひます。



*加藤上人の希望により、四月一杯は髭をのばすそうです。本人は大変似合うと気に入っているようです？

『位牌壇』募集中！

*お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱えられますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守られていきます。

*御命日の時、旅行や所用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経もお上げ致します。

*青森では冬期間お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと常にお参りが出来ます。

*分割は三年間の内に、回数にご相談下さい。
◎下から上席に上がるには、差額を納めて戴きます。

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花・皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助に活用致します。

会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

安心をもたります信心

檀信徒研修会のお知らせ

☆四月二十二日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)』と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂【イスや安座にて結構です】

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

霊断

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。宗旨宗派は問いません。

『聖典の読誦と唱題行』の次第

礼拝文	「謹みて礼拝し奉る」	【4ページ】
開経偈	「無上甚深微妙の法」	【6ページ】
読経	「方便品第二」	【9ページ】
	「如来寿命品第十六」	【13ページ】
	「如来神力品第二十一」	【19ページ】
	「観世音菩薩	
	普門品第二十五	【23ページ】
	「陀羅尼品第二十六」	【30ページ】
	「普賢菩薩	
	勸発品第二十八	【35ページ】
懺悔文	「夫れ懺悔は治病の」	【47ページ】
御妙判	「祈 禱 鈔」	【67ページ】
御題目	「南無妙法蓮華經」	
宝塔品偈	「此 經 難 持」	【72ページ】
回向文	(導師が唱えます)	
四 誓 願	「誓つて南無妙法蓮」	【76ページ】
三 整 唱	「なむめうほうれん」	【77ページ】
弾指合掌		以上

お寺からのお知らせ

当山では、次の主な仏事用品をお譲りしています。

*お塔婆

◎普通塔婆 (二千元)

◎普通幅広塔婆 (二千二百円)

◎五十回忌用塔婆 (二千七百円)

◎五十回忌幅広塔婆 (三千元)

・お寺・ご自宅で法事をする時、お塔婆をご希望の方は、その旨をお申付け下さい。

*お追膳

◎一膳(五百円)

・お寺で法事・命日忌を行う場合ご用意します。
・位牌堂・永代供養堂にご命日にご用意します。

*日蓮宗用過去帳

◎大・三千二百円 ◎小・三千元【書き代五千元】

*大曼荼羅御本尊

◎各種サイズがあります。

大きさはご相談下さい。【魂入れ代五千元】

*大荒行護符(オブラート・一枚三百円)

- * 榎入大黒天(分割可能)
 - ◎一升榎(手彫・五万円)(機械彫・三万円)
 - ◎五合榎(手彫・四万円)【魂入・御幣代を含む】
- * お経本
 - ◎聖典(八百円)
 - ・ついでたちのお勤め・朝のお勤め・檀信徒研修会用
 - ◎法華経要品の訓読【日本語読み】(千五百円)
 - ・十三日のお勤め・秋彼岸会のお勤め用
- * お経のテープとCD
 - ◎聖典用のカセット(六百元)・CD(千円)
 - ◎十三日用のカセット(六百元)・CD(千円)
- * 地鎮祭用の経石
 - ◎地鎮祭で土地に埋める経石五個(五千元)
- * 起工式(柱立て)用の棟札
 - ◎大黒柱に掛ける木札(三千元)
- * 御首題帳
 - ◎参拝寺院のお題目・御朱印の記入帳(千円)
- * 朝光水(身延山の目薬・六百元)
- * その他・お守り・お札等
 - ◎お守り袋・チェーン・ペット用のお守り・お札等色々取り揃えていますのでお申付け下さい。

四月の行事

一 日(土) 盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱えてお守りを交換しましょう。
- ・聖典(お教本)と数珠は必ずご持参下さい。



七日(金) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

- 十三日(木) 日蓮大聖人の御回向 午後一時より
- ・お経——如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・皆様も進んで参拝し、一緒にお経を唱えましょう。

十三日(木) 宗祖御降誕会 午後一時より

⑨ 日蓮大聖人のお誕生日です。

二十二日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より
⑩ どなた様でも参加出来ます。

☆奉仕のお知らせ

三日(月) 倉庫整理と境内地の大清掃

教宣部男女・・午前十時より
* 今月は、大掃除を行いますので、沢山の方々の奉仕をよろしくお願い致します。

- ◎ 奉仕部長・山田兼補
- ◎ 伝道部長・小野正春
- ◎ 教宣部長・杉淵昌三

☆行事のご案内

* 盛運祈願会

- ・毎月のお守り(霊神符)を必ず着体しましょう。
- ・一日午後一時からのお勤めに参拝して下さい。

* 十三日のお勤め

- ・日蓮大聖人様の大事な『月ご命日』の日です。
- ・午後一時からのお勤めに参拝して下さい。

* 朝のお勤め

- ・毎朝、午前六時半より(約一時間)
- ・聖典【お経本】と数珠を忘れずに!

☆ 剣守札 (星)

星祭の剣守札(星)をお忘れの方は、まだ受け付けていますので、お申込み下さい。



一体・・・二〇〇円